

研究機関：広島大学

研究課題名	フィルタ補正逆投影法を応用した Volumetric Modulated Arc Therapy (VMAT)の治療計画のための幾何学的理想的な線量分布作成システムの開発
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 放射線腫瘍学 教授 永田 靖
研究期間	平成30年7月6日(倫理委員会承認後)～平成31年3月31日
対象者	2008年4月から2018年3月の間に、広島大学病院放射線治療科でVMATによる放射線治療を受けるために治療計画用CTを撮影した患者。
意義・目的	VMATの治療計画の作成において、幾何学的に理想的な線量分布をCTの再構成法を応用した方法により作成し、実際の線量分布と比較検討する事により、これまで主に経験によって評価を行っていた治療計画の最適化に客観性をもたせ、治療計画作成の高精度化、品質の均一化に関する検証を実施する事を目的とします。
方法	本研究は過去に撮影された治療計画CTを用いて行います。治療に用いた腫瘍および正常臓器の輪郭情報(コントールリング)および線量分布を使用します。カルテから使用する情報は性別、生年月日、治療部位、照射方法、処方線量です。いずれにおいても個人を特定可能な情報は解析に使いません。
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 放射線治療科 教授 永田 靖
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-1545 広島大学病院 放射線治療科 助教 三木健太郎